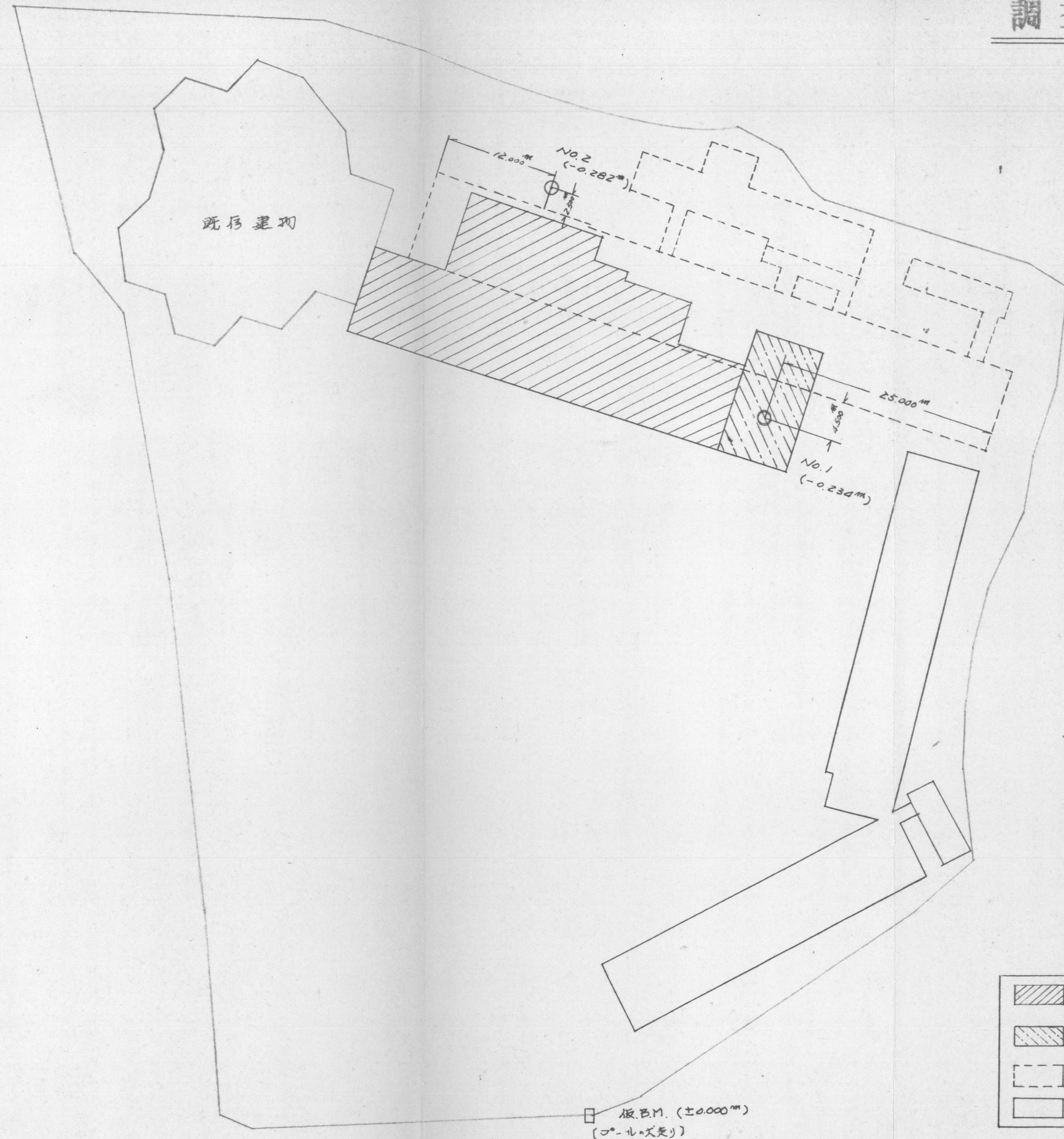


調査位置図

S : 1/500



凡例

	1期工事部分
	2期工事部分
	除却部分
	既存部分

町田市立町田第二小学校新築
敷地 地盤調査

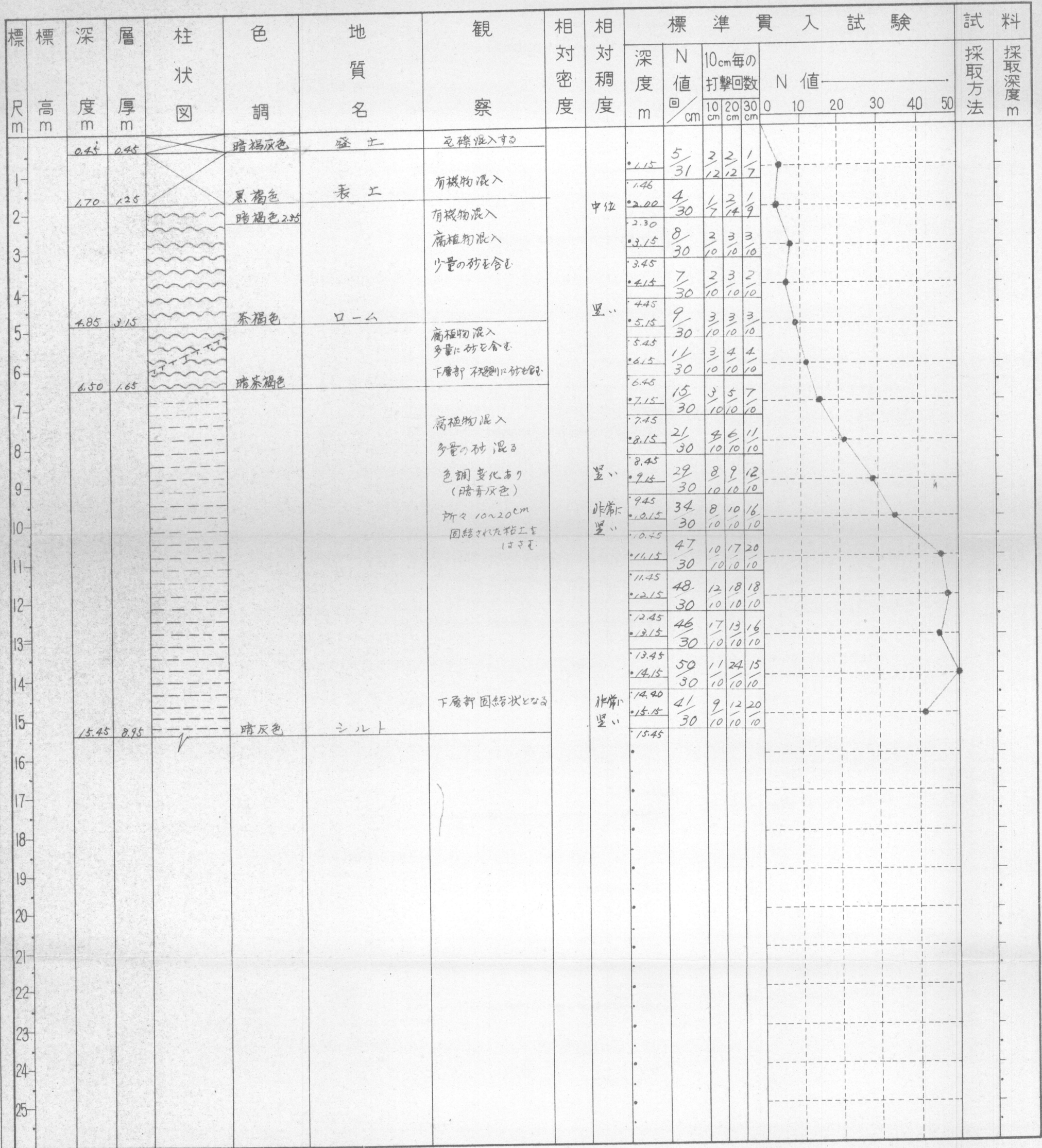
地質柱状図 (NO. 1)

調査地点

調査年月日 昭和44年8月30日 ~ 月 日

標 高 -0.234

孔内水位



(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

2 試料採取深度と回収比

3.20	3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
45/	45/ は回収比 (50cm:貫入深さ,
50	50 45cm:試料長さ)
3.70	

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

町田市立町田第二小学校新築 地質柱状図 (NO. 2)

調査地点 調査年月日 昭和44年 8月31日 ~ 月 日

標 高 -0.282 孔内水位

標	標	深	層	柱	色	地	観	相	相	標準貫入試験						試 料	
										深度	N	10cm毎の			N 値	採取	採取
尺	高	度	厚	図	調	質	察	対	対	m	値	10	20	30	0 10 20 30 40 50	方法	深度
m	m	m	m			名		密	稠			cm	cm	cm			m
1							草根混入			1.15	8/30	2/10	3/10	3/10			
2		1.85	1.85		黒褐色	表土				1.45	7/30	2/10	3/10	3/10			
3							腐植物混入		中位	2.15	8/30	3/10	2/10	3/10			
4										2.45	8/30	3/10	2/10	3/10			
5		5.40	2.45		茶褐色	ローム				3.15	5/30	2/10	1/10	2/10			
6							腐植物混入			3.45	7/30	2/10	3/10	2/10			
7							砂 少量混る		中位	4.15	6/30	2/10	3/10	2/10			
8		8.25	2.95		茶褐色	凝灰質ローム	火山灰若干含む			4.45	6/30	2/10	3/10	2/10			
9							腐植物混入		非常に	5.15	7/30	2/10	3/10	2/10			
10							所々砂帯状には		中位	5.47	7/30	2/10	3/10	2/10			
11		11.20	2.85		暗灰色	シルト	固結状になっている			6.15	6/30	2/10	3/10	2/10			
12							腐植物混入			6.45	6/30	2/10	3/10	2/10			
13										7.15	6/30	2/10	3/10	2/10			
14		14.32	3.12		茶褐色	ローム			非常に	7.48	16/30	3/10	3/10	10/10			
15							14.80~15.00m付近		中位	8.15	30/30	7/10	13/10	10/10			
16		16.10	1.78		茶褐色	砂 礫	礫径 10~40mm			8.45	30/30	7/10	13/10	10/10			
17							下部不規則に砂もは			9.15	30/30	7/10	13/10	10/10			
18							試験採取不能			9.45	30/30	6/10	11/10	16/10			
19										10.15	7/30	2/10	2/10	3/10			
20										10.45	8/30	3/10	2/10	3/10			
21										11.15	7/30	2/10	3/10	2/10			
22										11.45	8/30	3/10	2/10	3/10			
23										12.15	7/30	2/10	3/10	2/10			
24										12.45	7/30	2/10	3/10	2/10			
25										13.15	43/30	3/10	5/10	35/10			
										13.45	50/15	33/10	17/5	—			
										14.15	50/10	—	—	—			
										14.45	—	—	—	—			
										15.05	—	—	—	—			
										15.20	—	—	—	—			
										15.80	—	—	—	—			
										16.10	—	—	—	—			

(註) 1. 試料採取方法の記号 (記号の右の数字は試料番号)

- 1 乱さない試料
- ◎-2 貫入試験機による試料
- 3 コア試料

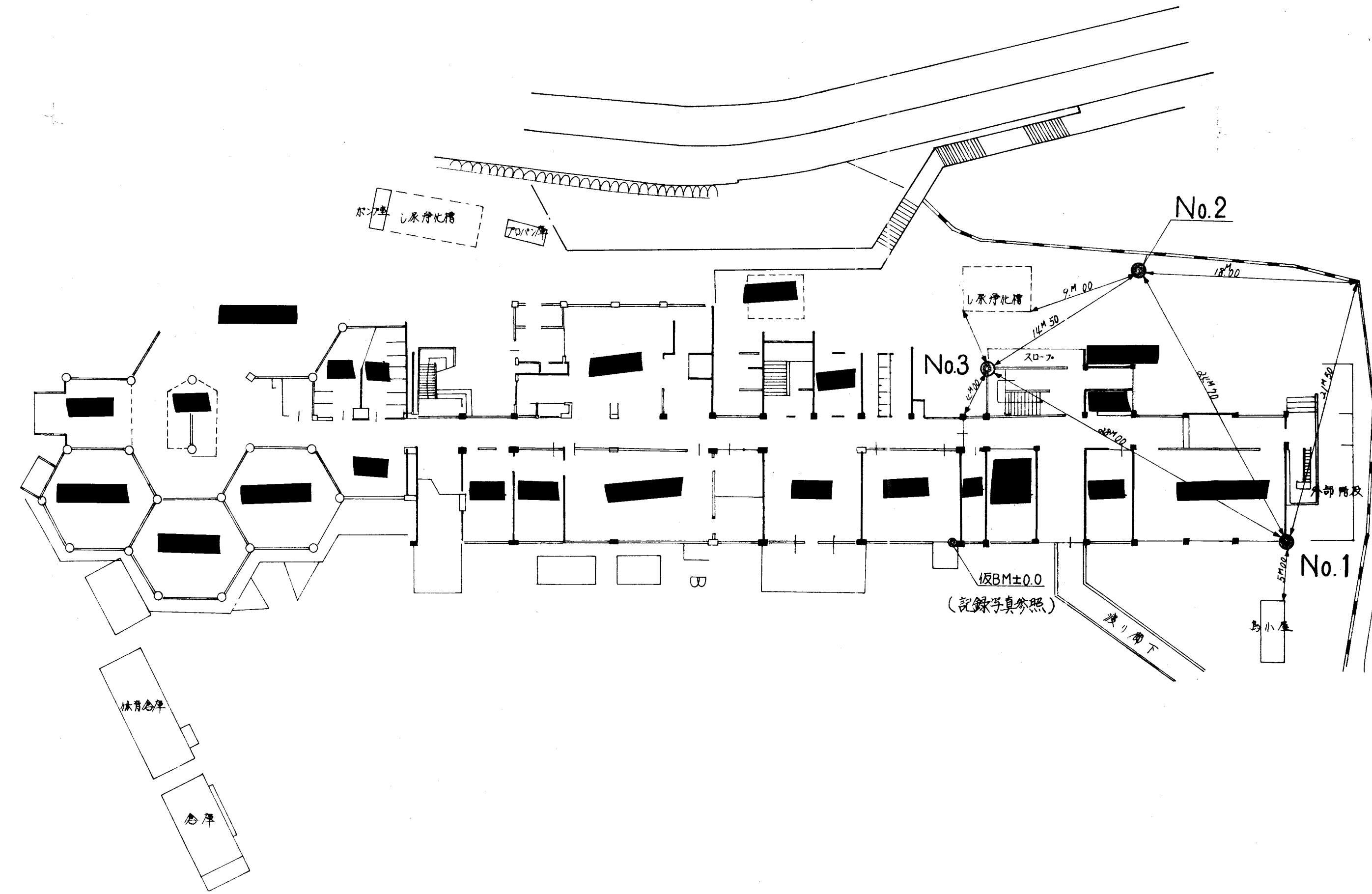
2. 試料採取深度と回収比

3.20 3.20-3.70 は試料採取深度 (m)
45/50 45/50 は回収比 (50cm:貫入深さ,
3.70 50/45cm:試料長さ)

3. 標準貫入試験の項で10cm毎の打撃回数とは最初の10cm貫入に要した打撃回数, 10cm~20cmの間で要した打撃回数, 20cm~30cmの間で要した打撃回数をそれぞれしめたものである。

調査位置図

(S = 1 : 300)



調査名・調査地点 町田市立町田第二小学校
地盤工事に伴う地質調査委託

標高 仮BM - 0.10 m

調査年月日 53年12月6日～53年12月9日

ボーリング孔：No. /

孔内水位 GL - 10.50 m

標尺 m	標高 m	深さ m	層厚 m	現場観察記録				標準貫入試験					試料採取										
				土質記号	土質名	色調	記事	深さ m	打撃回数 貫入量 cm	10cmごとの 打撃回数			N 値			試料番号	深さ m	採取方法					
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50	60				
1					盛土	黄褐 ? 黒茶褐 混り合い	0.0~0.70m 凝灰質粘土 の盛土 0.70~1.80m 黒色ローム、茶褐ローム 混り合いコンクリート混入	1.15 1.46	5 31	2 12	2 12	1 7		5									
2	-1.90	1.80	1.80		ローム	黒	毛根混入する 含水高い	2.15 2.47	2 32	1 20		1 12		2									
3								3.15 3.45	5 30	2 14	2 10	1 6		5									
4	-3.90	3.80	2.00					4.15 4.45	9 30	3 13	3 10	3 7		9									
5					ローム	茶褐	スクリップ混入 炭化物混入 良く締っている	5.15 5.46	9 31	3 13	3 10	3 8		9									
6	-6.80	6.20	2.90				下部固結状を呈して おりコアで採取する	6.15 6.46	12 31	4 11	4 10	4 10		12									
7	-7.60	2.50	0.80			暗茶褐		7.15 7.45	10 30	3 10	3 10	4 10		10									
8						茶褐		8.15 8.45	9 30	2 10	3 10	4 10		9									
9	-8.90	8.80	1.30					9.15 9.45	9 30	2 10	3 10	4 10		9									
10							含水若干高く浮石が 混入する 概ね状況に おいては軟い所及び 硬い所との互層状で 弱固結状として硬い 所を採取出来る	10.15 10.45	30 30	5 10	10 10	17 10		30									
11					シルト	暗灰		11.15 11.45	23 30	5 10	9 10	9 10		23									
12							12.90~13.35m間は 含水の高い浮石を挟み 13.35m以下のシルトは 軟弱なり	12.15 12.45	36 30	8 10	12 10	16 10		36									
13	-13.80	12.90	4.10			淡緑灰 暗灰		13.15 13.45	18 30	4 10	6 10	8 10		18									
14	-13.80	13.35	0.45					14.15 14.45	12 30	3 10	5 10	4 10		12									
15	-15.90	15.80	2.10		ローム	茶褐	粘土混り合い 浮石混入する	15.15 15.48	9 33	3 10	3 12	3 11		9									
16							礫径は全体的にみて 小さいが所々ごく稀に 65%以上の礫混入 φ30~40%位の礫多く 丸礫主体 粘土混り合い	16.15 16.30	50 15	25 10	25 5			50以上									
17					砂礫	黄褐灰		17.15 17.25	50 10	50 10				50									
18	-18.40	18.30	2.50					18.15 18.45	30 30	21 10	5 10	4 10		30									
19					ローム	茶褐 ? 茶褐灰 ? 黄褐灰	下部粘土多く混る 粘土質ローム 浮石混入 19.70mより凝灰質の 粘土とより弱固結状 を呈している所あり 互層状 不安定な状態	19.15 19.45 20.15 20.46 21.15 21.45	7 30 31 31 30	2 10 2 15 2 12	2 10 2 10 3 13	3 10 2 6 2 5		7									
20					凝灰質粘土			22.15 22.45	6 30	2 10	2 10	2 10		6									
21								23.15 23.45	7 30	2 10	3 10	3 10		7									
22								24.15 24.45	16 30	4 10	5 10	7 10		16									
23	-23.70	23.60	5.30					25.15 25.45	8 30	2 10	3 10	3 10		8									
24					凝灰質粘土	淡乳黄 黄乳灰	粘性やや大 下部茶褐の粘土が 混入する	26.15 26.45	5 32	1 10	2 12	2 10		5									
25	-25.80	25.70	2.10			茶褐		27.15 27.45	11 30	2 10	3 10	6 10		11									
26	-26.60	26.50	0.80		粘土混りローム質砂	茶褐	非常に良く締っている	28.15 28.45	35 30	10 10	13 10	12 10		35									
27					粘土		上部帯状に褐色の 粘土挟む 全体的に褐色の砂 帯状にうすく挟む 下部にかけた固結状 を呈する	29.15 29.45	18 30	4 10	6 10	8 10		18									
28					粘土質シルト	黄灰		30.15 30.45	28 30	7 10	10 10	11 10		28									
29								31.15 31.45	24 30	6 10	8 10	10 10		24									
30	-30.90	30.80	4.30		固結シルト			32.15 32.45	44 30	11 10	14 10	19 10		44									
31					微細砂		固結状を呈している 良く締っている 粒子均一 雲母混入する	33.15 33.33	50 18	22 10	28 8			50以上									
32						深緑		34.15 34.28	50 13	37 10	13 3			50									
33					細砂			35.15 35.29	50 12	40 10	10 2			50									
34	-34.36	34.26	3.46					36.15 36.26	50 11	43 10	7 1			50									
35																							

土質柱状図

報告用紙

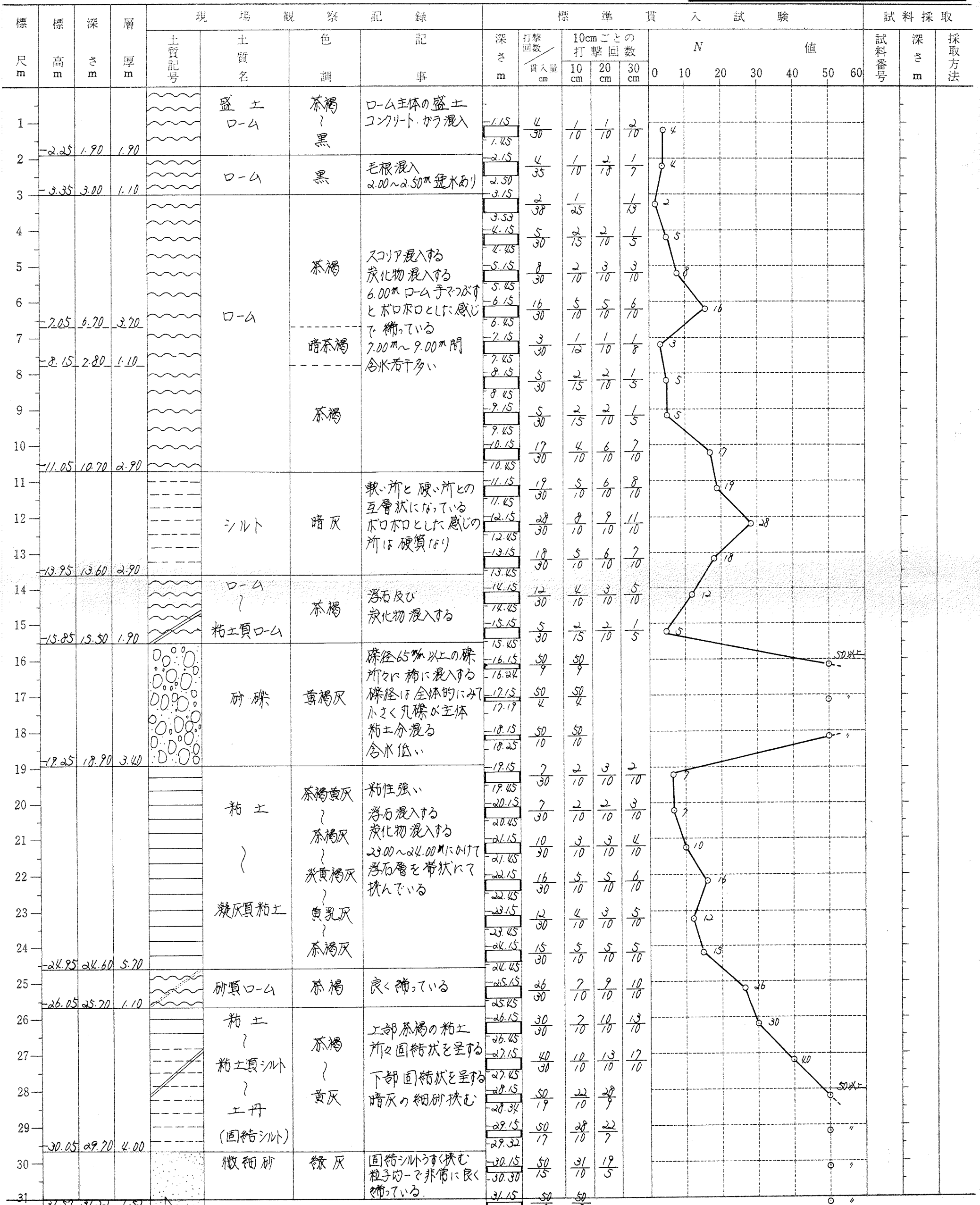
調査名・調査地点 町田市立町田第二小学校
増築工事に伴う地質調査委託

標高 15.8M - 0.35 m

調査年月日 53年12月12日～53年12月14日

ボーリング孔：No. 2

孔内水位



試料採取方法の記号

● シンウォールサンプラー

○ 貫入試験用サンプラー

● デニソン型サンプラー

○ フォイルサンプラー

× その他

土 質 柱 状 図

報 告 用 紙

調査名・調査地点 町田市立町田第二小学校
増築工事に伴う地質調査委託

標 高 15BM-0.35 m

調査年月日 53年12月14日～53年12月15日

ボーリング孔：No. 3

孔内水位 GL-11.80 m

標 尺 m	標 高 m	深 さ m	層 厚 m	現 場 観 察 記 録				標 準 貫 入 試 験										試 料 採 取					
				土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	深 さ m	打 撃 回 数 貫入量 cm	10cmごとの 打 撃 回 数			N 値						試 料 番 号	深 さ m	採 取 方 法		
										10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40	50				60	
1					盛 土	黒 茶褐 黒茶褐	粘土(黄褐)ローム(茶褐) 及び黒)混り合う盛土 所々にコンクリート片及び ガラスが混入する	-1.15 -1.45	3 30	1 10	1 10	1 10	3										
2	-2.15	1.80	1.80					-2.15 -2.45	4 30	1 15	1 10	2 7	4										
3					ロ ー ム	黒	毛根混入 下部黒褐になる	-2.45 -3.15	5 30	1 10	2 15	2 7	5										
4	-3.20	3.35	1.55					-3.15 -3.45	5 30	1 10	2 15	2 7	5										
5						茶褐	スコリア混入 炭化物混入	-3.45 -4.15	4 30	1 10	2 15	1 5	4										
6							6.00m付近手に取ると 木口木口した感じ	-4.45 -5.15	5 30	2 15	2 10	1 5	5										
7	-6.65	6.30	2.95		ロ ー ム	暗茶褐	6.30～6.80m間は 暗茶褐になる	-5.45 -6.15	12 30	3 10	4 10	5 10	12										
8	-7.15	6.80	2.50				7.00m付近 含水が多く 粘性増す 軟弱なり	-6.45 -7.15	3 30	1 12	1 10	1 8	3										
9						茶褐	下部 弱固結性を呈 している 良く締っている	-7.45 -8.45	6 30	2 12	2 13	2 7	6										
10								-8.45 -9.15	11 30	3 10	4 10	4 10	11										
11	-10.50	10.15	3.35					-9.45 -10.15	26 30	7 10	8 10	11 10	26										
12					シルト	暗灰	浮石混入する 弱固結性を呈している コアで採取できるが 所々軟弱である	-10.45 -11.45	25 30	6 10	8 10	11 10	25										
13								-11.45 -12.15	31 30	9 10	11 10	12 10	31										
14	-13.85	13.50	3.35					-12.45 -13.15	21 30	6 10	8 10	7 10	21										
15					ロ ー ム ?	茶褐	浮石及び 炭化物混入する	-13.45 -14.15	9 30	3 12	3 10	3 8	9										
16	-15.85	15.50	2.00		粘土質ローム			-14.45 -15.15	22 30	4 10	8 10	10 10	22										
17							礫は丸礫が主体 粘土が混り合う	-15.45 -16.15	50 73	38 70	12 3												
18					砂 礫	黄褐灰	含水が少ない	-16.20 -17.08	50 3	50 3													
19							16.50～19.00m間は 大礫(φ65mm以上)が 多く 硬質なり。	-17.08 -18.65	50 2	50 2													
20	-19.61	19.26	4.76					-18.65 -19.15	50 11	41 70	9 1												
21								-19.15 -19.26															
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28																							
29																							
30																							

備 考：

試料採取方法の記号

- シンウォールサンプラー
- 貫入試験用サンプラー
- ⊙ デニソン型サンプラー
- ⊕ フォイルサンプラー
- × その他